

第5回 名寄市総合計画審議会

日時：令和4年7月22日（金）

18時30分～20時10分

場所：名寄市役所（名寄庁舎）4階大会議室

1 開 会

石橋総合政策部長より開会。

2 会長挨拶

今井会長より挨拶。

3 議 事

(1) 後期基本計画重点プロジェクトについて

事務局より説明。

(2) 後期基本計画主要施策について（基本目標Ⅰ）

各担当部局より説明。

【質疑応答】

I-2 人権尊重と男女共同参画社会の形成

委員：成果指標に女性委員の割合とあるが、市議会議員の数の男女割合の議論は行っているか。

担当部局：議員の男女割合については、名寄市男女共同参画推進計画で謳えるものではないため、策定の議論の中には出てくるかもしれないが、目標値としては難しい。

委員：今回の計画では新たに「いじめ」について言及されていた。市でも小中高いじめ防止サミットを実施しており、取組に感心させられた。近年、いじめの問題がクローズアップされているので、いじめ問題は今後も取り組んでいくべきである。

担当部局：国の計画でもいじめ問題が取り上げられているため、本市の計画にも記載している。いじめ防止サミットは前教育長肝入りの事業であり、これまでも実施してきている。小中で実施していたものに高校側から声がかかり、小中高と拡大・拡充された経緯がある。有効な取組であると考えられるため、多くの方に伝わるように引き続き

取り組んでいく。

I-3 情報化の推進

委員：デジタル施策を進めるうえでは、機器の整備だけではなく人材の問題もあると思う。市職員のスキルアップも求められるが、何か取組を行っているのか。

担当部局：デジタルへの意識づけのため全職員を対象とした研修をはじめ若手、管理職向けにもそれぞれ研修を実施しているほか、若手ワーキンググループを組織し、市長へ提言も行った。

委員：若手職員の取組は素晴らしいと思う。規模の大きな職場では、デジタル技術の普及により、その技術に対応できず、負担となり、病気になる人も多いことから、ケアする取組が必要と考える。

I-4 交流活動の推進

委員：移住件数は重要であり、名寄に縁が無い人に移住してもらうのも重要。転勤で来る人は、子育て世代が多いので引き止める取組が必要。名寄に定住するための支援がないと別の市町村に行ってしまう。

担当部局：子育て世代はターゲットのひとつとして移住施策に取り組んでおり、子育て施設や支援の充実について、情報発信等に取り組んでいる。

I-7 効率的な行政運営

委員：後期計画期間に具体的な取組が現在のところ想定できないとして、中期計画には記載があった「庁舎のあり方検討」が削除されている。市民が安心できる災害時の防災拠点となっているか。

担当部局：市庁舎は防災の拠点である。老朽化していることは認知しているが、公共施設の整備には優先順位があり、義務教育施設や子どもたちが使う施設を優先度が高いと判断した。

委員：有事の際に拠点となる施設があるということでもいいか。

担当部局：他に対応できる代替施設や発電機能を備えている施設もあり対応できると認識している。

(3) 後期基本計画主要施策について(基本目標Ⅱ)
各担当部局より説明。

【質疑応答】

Ⅱ-1 健康の保持増進

委員：新型コロナウイルスのワクチンは、国で接種率の目標があるが、市としての目標があってもいいのではないか。

担当部局：新型コロナワクチンは臨時接種であり、4回目、5回目の接種の話が出ているなか、国の動きを見ながらの対応となるため、後期計画の中で定めることは難しいと考えている。

委員：特定不妊治療費助成事業が後期計画では無くなっているのはなぜか。

担当部局：令和4年度より保険適用となったため。

Ⅱ-3 子育て支援の推進

委員：就学前児童の年齢の範囲の確認をしたい。

担当部局：乳幼児から5歳まで。

委員：出生率の向上はどここの施策になるか。

担当部局：出生率の向上は大きなテーマ。保健センター、母子保健、経済支援や社会、福祉、教育など総合計画の様々な分野に関係するものである。

委員：名寄市は近隣に比べて子育てしやすい環境が整ってきている認識はある。ファミリーサポートセンターの人数が少ないと思うが、今後の方向性はどうするのか。

担当部局：利用したい人は増えてきている。提供側の会員は横ばいであるが、今後は人口減少していく中で、何かあったときに利用してもらえるよう、今の人数は確保していきたい。子育てが終わった方が逆に提供側に回ってもらえるような仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えている。

委員：子育て施策は子育てしている方には浸透しているが、子どもを産みたくなるよう、子育てをしていない方への周知を図っていただきたい。子どもがいない方が産みたくなるような環境づくりが必要であり、出生率向上につながる取組を行ってほしい。

委員：保育士の確保が難しいと言われているが、札幌市の条件と比べて開きがある。対策は検討しているか。

担当部局：市内就職補助や、宿舎（住宅）の補助などで支援をしている。市立大学とも連携を強化しながら地元就職をしてもらえるよう取り組んでいく。

Ⅱ-5 高齢者施策の推進

委員：一般企業の退職は65歳であるが、本人の希望、会社との合意で継続して働くことができ、そういった年齢層の需要が高まるのでアプローチを行っていったらいいのではないかと。

担当部局：高齢者施策では、高齢になっても安心して暮らせるための施策が中心であり、福祉担当としては65歳を超えても安心して暮らせる施策に取り組んでいく。

全体に関すること

委員：多くの主要施策で、横文字が使用されており、注釈などを入れてわかりやすく周知いただきたい。

事務局：冊子にする際には中期同様、用語説明を記載してわかりやすく、示していきたい。

4 その他

事務局より説明。

次回は8月3日（水）に開催。引き続き、基本目標のⅡ-2、Ⅲを協議いただく。

5 閉会

今井会長より閉会。

[会議資料]

資料1 後期基本計画重点プロジェクトについて

資料2 基本目標Ⅰ（Ⅰ-1～Ⅰ-7）

資料3 基本目標Ⅱ（Ⅱ-1、Ⅱ-3～Ⅱ-7）